

中国中央病院広報誌

ハ〜イ!

# 青いそら

2024年正月号

< 病院理念 > 患者さん中心の人にやさしい良質の医療を提供します



P.4~6

備後地域の患者さんのために

特集

## 手術支援ロボット導入

呼吸器外科

病院長よりごあいさつ	P.2
救急隊との症例検討会開催	P.7
地域連携室だより	P.8
患者さんアンケート結果のご報告	P.9
外来診療担当医表	P.10
栄養メニュー / 俳句コーナー	P.12

2024年1月



中国中央病院  
第155号



中国中央病院HP



中国中央病院  
卒後臨床研修サイト



表紙の写真を募集いたします  
詳しくは6ページへ

「出初式」撮影地：福山市草戸町 芦田川河川敷 撮影者 平岩 真吾さん

## 年頭のご挨拶



げんば けんいち  
病院長 玄馬 顕一

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。2024年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。

2020年にパンデミックを起こした新型コロナウイルス感染症は、未だ終息しないものの、2023年5月からは感染症法上の位置づけが5類となり、流行前と同様の社会生活を取り戻そうとしています。しかし、ウイルスの感染力が弱まった訳ではなく、健康人が感染した際の重症化率は低下しているものの、免疫低下状態で感染すると呼吸不全に陥ることも珍しくありません。緩和されてきた一般社会での感染対策と病院内で必要とされる感染対策が乖離してきているため、その狭間で医療従事者は未だに難しい対応を迫られています。

さて、中国中央病院は地域医療支援病院として、これまで通り福山・府中二次医療圏の主として、北部地域の急性期医療を担当し、地域の診療所の先生からのご依頼は勿論のこと、救急患者・重症患者さんを積極的にお引き受けしたいと考えています。救急車の受け入れ件数は着実に増加しており、地域の救急医療において一定の貢献ができていると考えています。

2024年4月から始まる「医師の働き方改革」による医師の時間外労働時間の規制と、救急医療、特に夜間・休日の救急搬送患者の受け入れは相反する課題であり、救急医療を更に充実する方策を模索する必要があります。当院では、地域にお住いの皆様や医療機関のご要望に十分にお応えできる専門的な医療・看護の提供を目指しており、職員

一丸となって努力していきたいと考えています。

医師確保に関しては、昨年は産婦人科医師を1名増員することができました。また、本年も昨年に続き初期研修医を4名採用できることになりましたので、若い医師が増えて活気のある医局になると期待しております。



診療に関しては、血液内科では白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫などの造血器腫瘍に対する強力な化学療法・抗体療法は勿論のこと、無菌室を用いた造血幹細胞移植などを主体に、あらゆる血液疾患の診療を行っております。また、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科が協力して肺がん、胸膜中皮腫など種々の呼吸器腫瘍に対する集学的治療を行うとともに、COPD（慢性閉塞性肺疾患）・間質性肺炎・気管支喘息・肺結核などあらゆる呼吸器疾患に対する専門的な診療を行っております。血液疾患、呼吸器疾患に関しては、広島県東部地域では最も充実した医療が提供できていると自負しております。



更に、周産期医療にも力を入れております。

分娩に対応できる医療機関が年々減少していることもあり、昨年の当院での分娩数は増加しています。分娩を安全に実施するとともに、地域の皆様から信頼される産婦人科医療と専門医療人の育成を図っております。その他、糖尿病・腎疾患・膠原病の診療、消化器疾患に対する内視鏡を用いた診断・治療、整形外科領域等多面的な診療についても更に充実させたいと考えております。

こうした診療以外に、当院の特徴として、治験(新しい薬の効果や適切な投与量、安全性等を確認すること)や臨床研究に積極的に参加し、エビデンスの創出(この薬には効果があるという証拠を出すこと)に努めていることが挙げられます。

最近の医学医療の進歩は目覚ましいものがあります。数年前には予後が厳しいと考えられた疾患が、新しい治療法や新薬の開発により救命できる時代になりつつあります。こうした医療の進歩はイコール臨床研究の進展の結果でもあります。

造血器腫瘍においては、日本成人白血病共同研究グループ(JALSG)や日本細胞移植研究会(JSCT)という全国的な臨床研究のグループの中心メンバーとして活躍しておりますし、グローバルな研究を含め非常に多くの臨床研究、治験に参加しており、造血器腫瘍に対する臨床研究の基幹施設として認められています。

さらに、肺がん、胸膜悪性中皮腫、COPD、気管支喘息などの呼吸器疾患においても、中国・四国呼吸器疾患関連事業包括的支援機構(CS-Lung)、岡山肺癌治療研究会(OLCSG)など多数の臨床研究、治験に参加しており、世界的にも漸新な治療の導入を図っています。当院から新たな臨床エビデンス(治療の証拠)が生まれることを介して、一人でも多くの患者さんが厳しい病気から一刻も早く解放されることを医療スタッフ全員が心から願っております。

私ども中国中央病院では、スタッフの健康を守ることに最大限の努力をしようと考えています。安全で安心できる医療の提供には、健全で安心できる医療の体制が不可欠と考えているからです。最近では特に感染症に対するスタッフの健康管理を徹底すると共に、院内の医療環境にも配慮してストレスコントロールできる病院作りを目指しております。

最後になりますが、当院の理念は「患者さん中心の人にやさしい良質の医療の提供」です。様々な職種のスタッフが仲良くチームを組んで患者さんに心のこもった医療・看護を提供し、患者さんご家族の皆様「中国中央病院に来て良かった!」と感じていただけるように、今年も全職員が一丸となって邁進する所存ですので、これまでと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年 元旦



患者さん手作りの辰

## サロア 手術支援ロボット Sarioaについて

鷲尾一浩  
呼吸器外科 荒木恒太  
藤井龍之介

次年度4月からの運用を予定して、手術支援ロボットSarioaの導入を決定しました。  
今回は「手術支援ロボットSarioa」について当院の呼吸器外科チームに質問してみました。

### 手術支援ロボットって何ですか？

より身体への負担が少ない、回復も早い、  
精度の高い手術ができる、最先端のロボットです。

手術支援ロボットは、患者さんの体への負担が少なく、複雑な手術を可能とするために開発されました。高画質で立体的な3Dハイビジョンの手術画像の下、人間の手の動きを正確に再現する手術装置です。

医師は鮮明な画像を見ながら、人の手首よりはるかに大きく曲がり、回転する関節を備えた器具(鉗子)を使用し、精緻な手術することができます。

### ロボット手術のメリットは？

1つ目は自由度です。胸腔鏡手術の鉗子は直線的な動きですが、ロボットだと鉗子が回転するし、先が曲がり、触りたいところをストレスが少なく触れることがいいですね。

2つ目は手ブレがないことです。これは大きなメリットで、胸腔鏡ならカメラを持つ医師も手術を行う術者も、どうしても手ブレが起きます。ロボット手術ではそれが少なく、非常に細かい作業ができます。

3つ目は3Dの画像です。画質が非常にきれいで、

立体的に見えます。この3つがメリットだと思います。

### Sarioaの導入が決まり、準備はもうですか？

手術支援ロボットを導入する際には、外科医だけでなく、患者さんに麻酔をかける麻酔科医、手術室の看護師、医療機器を専門に扱う臨床工学技士と、多職種から構成されるチームを必要としますし、そのチームのトレーニングが重要になります。これは今回の支援ロボットSarioaに限ったことでは無いのですが、Sarioaの導入例が日本ではまだ少数であることもあり、現在最もSarioaを使用した手術施行例の多い福岡大学病院にご協力いただき準備を進めているところです。

万全な体制でスタートするために、入念に準備を行っています。スタッフ一同、緊張感と使命感を感じながら過ごしています。





## では、Saroaとはどんなものですか？

手術支援ロボットは様々な種類がありますが、当院が今回導入を決めたSaroaは、国産の手術支援ロボットです。現在導入されているのは、東京医科歯科大学病院、東京慈恵会医科大学病院、福岡大学病院で、当院は続いて4病院目となり、中四国地域では初の導入になります。

Saroaは大きく2つのパートに分かれています。

まず、①**パシエントカート**という大きな機械を患者さんに接続します。それを②**サージョンコンソール**という機械を術者(医師)が操作して手術を行います。

サージョンコンソールには大型のモニターがついており、そのモニターで術者はもちろんのこと手術チームが術野(手術を行っている範囲)を共有しながら手術を進めていくようになっていきます。



① パシエントカート      ② サージョンコンソール



## 特色は？

Saroaは従来の手術支援ロボットと同様に電気駆動のギアで鉗子の動きの自由度や手ブレの問題は改善され、繊細な操作が可能となっています。

Saroa一番の特色は「力覚」があることです。鉗子を握る力を、医師が操作するコントローラにフィードバックします。これにより、ロボットを操作する医師は、自分の手で直接手術しているような感覚で手技を行うことができます。手術時に鉗子が触れる臓器は、非常に繊細であり生命に直結する重要な器官です。私たちが手術をする際に最も神経を使う事柄のひとつが、臓器を「握る」「触れる」「引っ張る」力加減だと言えます。

従来の手術支援ロボットは、カメラ映像から得られる視覚情報にのみ依存して、力加減(力覚)を感じることができませんでした。ロボット手術というと「ロボットが勝手に手術するんか？」と言われる患者さんもありますが、そうではありません。人間が行う手術ですので力加減を感じることもとても大切だと考えています。力加減が分からなくても慣れれば大丈夫という意見もありますが、あるとより安全で精度の高い手術に貢献するのは間違いのないと思います。

Saroaを使用することで患者さんに対して、より安全で高精度な手術の実現が期待できます。



中国中央病院では、まずは肺がんの手術から実施していきます。



1月11日の中国新聞朝刊に記事を掲載していただきました。

4月初旬の運用開始に向けて現在準備中です。  
当機を活用することにより、これまでの胸腔鏡手術よりも正確で繊細な手術操作を行ったり、通常の胸腔鏡操作では器具が届かないようなところの操作が可能になったりと、ワンランク上の手術が可能になると考えています。

私達は、今まで得た豊富な胸腔鏡手術の経験を当院におけるSaroaの導入に生かしていきたいと考えています。中国中央病院チーム一丸となり、備後地域の患者さんへ、からだの負担の少ない手術を届けていきます。

庶務課 後藤大



中国中央病院広報委員会  
表紙の写真を募集いたします！



いつも当院広報誌「青いそら」を手にとっていただきありがとうございます。新年度より、みなさんからこの表紙を飾る写真を大募集いたします。福山の風景や季節を感じる写真等、素敵な写真をお待ちしております。

【応募方法】

- A4サイズに印刷したものを担当者へ郵送または、受付へご提出ください。
- 採用させていただく場合は、事前にご連絡申し上げます。その後、写真データをメール添付にてお送りいただきます。



【応募にあたって】

- 応募いただいた写真は広報誌の表紙以外には使用しません。
- 被写体が人物の場合は、必ず許可を得て応募してください。
- いただいた写真はお返ししませんのでご了承ください。
- 広報誌は当院ホームページへ掲載する場合があります。

【春号の締切】

3月25日（月）

【郵送先】

720-0001 福山市御幸町大字上岩成148番13  
公立学校共済組合中国中央病院 庶務課 宛

- 撮影者名（ニックネーム可）、連絡先、撮影地を同封してください
- 封筒に広報誌用写真在中とお書きください。





# 救急隊との症例検討会を開催しました

2023年10月13日(金) 当院の2階講堂にて、救急隊との症例検討会を開催しました。

新型コロナウイルスの影響により、約3年ぶりの開催となります。

当会は近隣の救急隊との円滑な救急対応、顔の見える連携を図ることを目的に開催しており、今回で第8回目の開催となりました。参加して下さった北消防署、北消防署駅家分署、芦品消防署、深安消防署、府中消防署の救急隊の皆様、ありがとうございました。



当院に救急車で搬送された患者さんの症例について、各救急隊の代表者から当院到着までの経過を説明していただいた後、診断及び治療経過を担当医が説明し搬送後の患者さんの処置について理解を深めていただきました。さらに今回は、めまい症状についての勉強会を行いました。

今後も症例検討会を続けることによって症例の理解を深め、地域の救急医療に貢献できるように努めて参ります。



↑ 搬送時の様子・経過について説明  
(北消防署)



↳ 搬送後の処置について説明  
(柴田消化器内科医長)



(右：中迫第二糖尿病・腎臓病内科部長)  
(左：角南整形外科部長)



↑ 医師へ質問・情報交換の様子  
(芦品消防署)



↑ めまい症状がある患者さんを搬送する際の  
注意点について、ミニレクチャーを実施  
(清水脳神経外科医長)

## 症例検討会参加にあたって

北消防署駅家分署 救急隊 檀上 友孝様

救急隊との第8回症例検討会の開催にあたり、案内いただきありがとうございました。

本会では、救急隊の搬送事例について医師の解説や治療経過など搬送後の処置について知ることができ、大変興味深いものがありました。また、情報交換では小児科の搬送相談にも回答していただき、今後の救急現場活動に生かしていきたいと思いました。本会を通して、中国中央病院と救急隊が、顔が見える関係を築き、お互い円滑な救急業務を遂行できるように協力していきます。

## 地域の先生方と交流 4年ぶりの開催「青い空の会」



医療機関の方へ  
地域連携室  
ホームページ



新年明けましておめでとうございます。

本年も引き続き、中国中央病院の窓口として、患者さん中心の温かいサポートに努めて参ります。



10月5日(木)、地域医療の発展と、情報交換を目的とした第13回青い空の会を開催することができました。新型コロナウイルス感染症拡大により4年ぶりの開催となりました。多くの地域の先生方や地域連携室の方々にご参加いただき、直接お話しさせていただくことで連携の強化に繋がる大変有意義な会となりました。お忙しい中ご出席くださった皆様に心から感謝申し上げます。

今回は、血液内科医長の黒井大雅医師より「当院の血液内科の治療」について紹介をさせていただき、「患者さんの思いに沿った良いチーム医療が行われている」とお褒めの言葉をいただきました。

今後も、地域の先生方からの診療依頼やご要望にお応えできるよう、より一層努力して参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



### 地域健康講座を開催いたします

【日 時】3月9日(土) 13:30~15:00 (予定)

【場 所】中国中央病院内

【参加費】無料

【内 容】がんについての最近の話題など  
がんでも元気に過ごせる工夫  
人生会議をご存じですか？

☆詳細はホームページ等でご案内させていただきます。

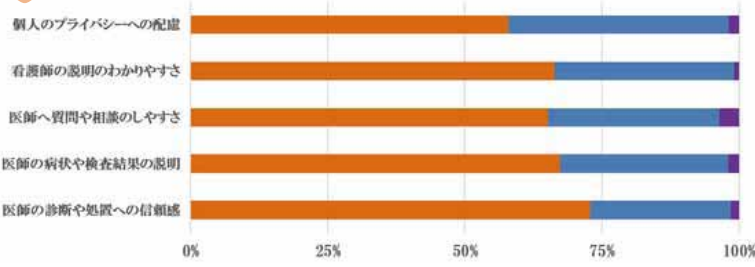


# 外来患者さんにアンケートを行いました

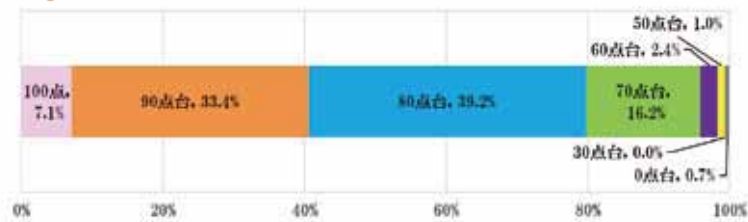
2023年9月11日～13日の3日間、外来患者さんを対象に満足度調査を実施いたしました。期間中、320枚のアンケート用紙を配布し、313名の方から回答をいただきました。回収率は、97.8%でした。外来受診でお疲れのところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。結果を一部ご紹介させていただきます。

非常に満足・満足      普通      やや不満・不満

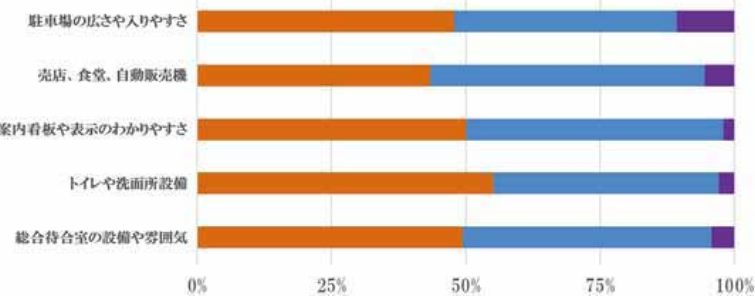
## 診療面について



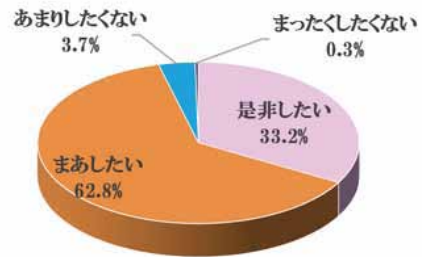
## 当院を100点満点で評価すると何点ですか



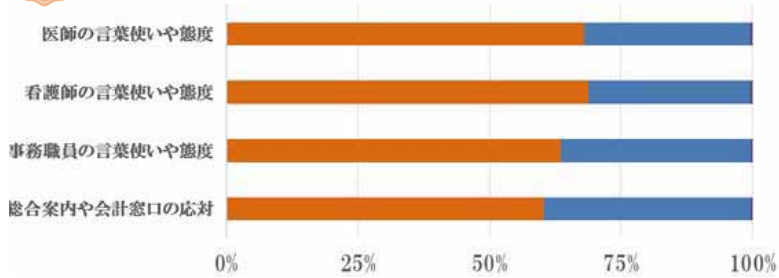
## 設備面について



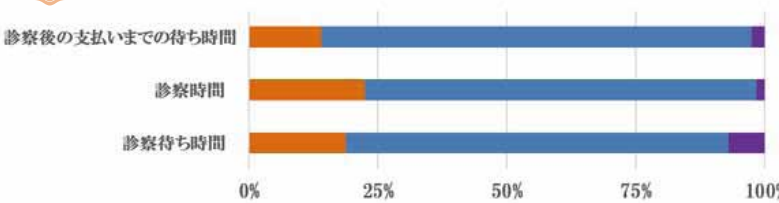
## 家族・知人に当院を紹介したいと思いますか



## 言葉遣いや態度、対応について



## 時間面について



## コメント・ご要望など

- ・ 人生で初めての入院でしたが、先生や看護師の方々に丁寧に対応していただきました。
- ・ 身体の不調について、その都度検査等してくださり、毎月通わせてもらっています。
- ・ 待合の椅子をあと5cm高くしてください。ひざが悪いと立ち上がりにくいです。
- ・ ATMがあるといい。
- ・ 診察の待ち時間が改善されたい。

## なぜ当院を選びましたか？

- 他施設からの紹介 119件
- 医療設備が良いから 98件
- 家や通勤先が近いから 71件

その他 評判がいい、すぐ入院ができる等

貴重なご意見やご要望につきましては、病院内で共有、検討し、より多くの皆様にご満足いただけるよう改善に取り組んで参ります。

看護部長 喜多村道代

栄養メニュー

とろ〜り  
かぼちゃのラザニア



材料 (2人分)

- かぼちゃ 80g
- 玉ねぎ 50g
- しめじ 20g
- ベーコン 5g
- 餃子の皮 4枚
- ミートソース 30g
- ホワイトソース 30g
- ピザ用チーズ 20g
- バター 5g
- パセリ 適量

栄養量 (1人分)

- エネルギー 198kcal
- たんぱく質 6.7g
- 脂質 9.3g
- 食塩相当量 0.8g

かぼちゃを切る時は  
気をつけて！

作り方

- 1 かぼちゃは5mm厚さに切り、ふんわりラップをかけ、電子レンジ500wで5分加熱する。
- 2 玉ねぎは薄切りに、ベーコンは細切りにする。
- 3 フライパンにバターを熱し、2としめじを炒める。
- 4 耐熱容器に、1(かぼちゃ)を並べ、その上に3を広げる。
- 5 4の上にミートソース→餃子の皮→ホワイトソース→チーズの順にのせる。
- 6 4と5をもう一段繰り返し、オーブントースターで焼き色が付くまで焼く。パセリを散らして完成！

秋から冬にかけて旬のかぼちゃには、ビタミンやミネラルが多く含まれており、特にビタミンAが豊富です。ビタミンAは、目の機能を保つために必要なビタミンで、皮膚・粘膜のダメージを回復する効果や、免疫力を高める働きがあります。ビタミンをしっかり補給して寒さに負けない身体をつくりましょう。

調理師 藤木瀬奈  
栄養士 藤田菜緒



秋空に オニが躍るや 山陽路

冬暁や シリウス消えし ビーナズ見ゆ

虫の夜や 点滴抱き 寝の妻覗く

手術中 時間の長さ 長いこと

コロナ禍で 病院通いの 医者まかせ

ドクターの 優しい言葉で 心癒え

我集捨て 看護する人 される人

朝日受け 若いあなたの シルエット

動画より 早く治って 応援に

シクラメン ゆらす廊下に ナースの背

?さん

星祭

久保田勝英

三原一茶

博

五一

拾里

くにちゃん

さっちゃん

たまき

今号で掲載第二回目となります。投稿いただきありがとうございます。一部をご紹介します。投稿用紙は院内の数か所に設置してありますので、引き続き、日々の気持ちや好きなものについて、お気軽に詠んでみてくださいね。スタッフ一同楽しみにしています。



広報委員会

編集後記

私は、日曜日の夜になればサザエさんを観るのですが、番組最後のじゃんけんコーナーを分析している方の記事を見つけ、『新年最初は必ずチョコを出す』というものを目にしました。2024年もチョコでした。これについては、「平和(ピース)を願って」とか、「新年には全ての視聴者さんが勝てるように、磯野家からのお年玉」という説があるそうです。今年も皆様にとって健やかな1年になりますように願っております。 広報委員会

青いそら〈第155号〉

発行人 病院長 玄馬 顕一

発行 広島県福山市御幸町大字上岩成148-13  
公立学校共済組合中国中央病院  
TEL.084-970-2121(代) FAX.084-972-8843

2024年1月19日発行

<https://www.kouritu-cch.jp>

編集：広報委員 安藤由智 田野智之 荒木恒太 尾形佳子 村上直治 大塚謙哉 西井育子 栗村朋香 藤井美名 上窪ちなみ 藤井恭子 齋藤敬太 三浦美保 後藤大 森川薫

